

マンパワーグループ

環境マネジメントポリシー およびガイダンス



ManpowerGroup®

方針と優先事項

マンパワーグループは、社員、クライアントの健康と社会、環境の安全を守るために構築された責任ある方法と行動に基づいて各事業部およびグループ会社が事業活動を営む方針を掲げています。

良き企業市民として、私たちは当社の活動が環境に与える影響について認識することが重要だと考えております。今後も当社は、環境への悪影響を削減できるよう、オペレーションと事業プロセスの評価・分析を続けていきます。

グローバル優先事項／地域社会へのインパクト

マンパワーグループは、75の国と地域で事業を展開するグローバル企業です。あらゆる業界と多種多様なビジネス環境にサービスおよびソリューションを提供していることから、全オペレーションに同一の環境マネジメント施策を適応するのが妥当で実用的であるとは考えていません。しかし、地域ごとのオペレーションが同じ目標を目指して力を合わせることで、最大限の潜在効果を実現することは可能だと考えています。本ポリシーおよびガイダンスのねらいは、グローバルレベルでの優先事項を定義すると同時に、地域レベルの足並みも揃えて、インパクトを最小化することです。

オフィスでの活動をベースにサービスやソリューションを提供する会社として、最も大きな環境インパクトと改善が見込まれるのは以下の項目です。

- ✓ 当社オフィスや設備の稼働に使用されるエネルギー
- ✓ 当社サービスを販売・提供するための出張

当社のコミットメント

- ✓ 私たちは、オフィスが所在する地域のコミュニティと調和する形で施設と事業プロセスを運用します。
- ✓ 私たちは、社員、社会、環境の保護に関する国および地域の法令を含む、適切な環境規則の精神と条文を遵守します。
- ✓ 当社の各オペレーションは、責任を持って現地のビジネス環境に適した現地の環境マネジメントポリシー、プラクティス、ガイダンス、トレーニングを開発および維持します。
- ✓ 私たちは、コスト効率の良い対策を可能な限り講じることで、オフィス活動でのエネルギー消費と、それによる温室効果ガス発生を削減します。
- ✓ 私たちは、可能な限り出張を控えます。出張が必要な場合は、コスト効率を最大限、環境インパクトを最小限にする移動手段を選びます。
- ✓ 私たちは責任を持って水を消費するとともに、「Reduce（削減）、Reuse（再利用）、Recycle（リサイクル）」の原則に基づいて、オフィスのゴミ排出を管理します。
- ✓ オフィス物件や備品を新たに選ぶ際は、環境要因を考慮します。
- ✓ 私たちは、社員の役割と責任に則したトレーニングを提供します。
- ✓ 私たちは、当社の環境へのコミットメントおよびパフォーマンスについて、透明性をもって報告・発信します。

ガイドンス

マンパワーグループが活動する場所は多様であるため、当社は各オペレーションが本ガイドンスを活用し、妥当かつ実用的、そしてコスト面でも効果のある適切な環境マネジメント施策を採用することを期待します。

エネルギーを節約し、オフィス活動による温室効果ガス排出を削減するための施策例

空調装置の電源は、始業直前に入り終業直前に切れるよう設定しましょう。

「英国本社では、週末になると暖房の電源が自動的に切れます。夏季休業中、補助ボイラーの電源はずっとオフになっています。こうした取組みやちょっとした調整で、エネルギー消費を 25% 以上削減できました」

空調装置の設定温度を数度、上げ下げしましょう。

暖房期間中に設定温度を 3°F (約 1.67°C) 下げただけで、エネルギー使用量が最大 13% 削減できます。

就業時間後やオフィスに人がいない時は、照明や電子機器の電源を切りましょう。

「フィリピンでは、昼休みにオフィスの照明を消したり、終業時にオフィス機器の電源を落としたりすることで、1 か月につき約 200kWh の電力を節約しています」

白熱灯をエネルギー効率の良い蛍光灯か LED 照明に交換しましょう。

オフィスビル 1 棟のエネルギー使用量のうち、平均 30～40% が照明によるものです。蛍光灯や LED 照明を使用することで相当量のエネルギー消費が抑えられ、コストも削減できます。蛍光灯と LED 照明には、最大 10 倍もの省エネ効果があります。

オフィス物件を新規に選ぶ際は、エネルギー効率を一つの選考基準としましょう。

「スウェーデンのオフィスを移転する際、より新しくエネルギー効率の良い空間を選ぶ戦略にこだわりました。移転後は、エネルギー使用量が 20% 近く減りました」

物件の所有者の方々の協力を仰ぎましょう。

物件の所有者あるいは管理者の方々にも、省エネ技術の導入を積極的に検討していただきましょう。

オフィス設備の買い換え時は、省エネラベル付きのモデルを選びましょう。

オフィスビル 1 棟のエネルギー消費の最大 25% は、オフィス機器によるものです。省エネ機器は、エネルギー消費を最大 70% 削減できます。

「イタリア本社の複合機／コピー機を買い替えるタイミングで、私たちは全 280 台を最新の省エネモデルにしました」

再生可能資源エネルギーを購入しましょう。

再生可能資源から生まれたエネルギーは、温室効果ガスを大気に放出しません。放出しても少量です。コスト効率を考慮したうえで可能な限りは、風力、太陽光、水力などの再生可能資源エネルギーを購入しましょう。



出張のインパクトを減らすための施策例

社用車には、エネルギー効率が良く排気量の少ないモデルを選びましょう。

自動車用燃料は、全世界のエネルギー消費量合計の約半分を占めています。当社事業所の多数が、社用車を古いモデルからエネルギー効率の良いモデルに替えることで、多額な投資をせずに燃料消費量と排気量を削減しました。

「正しい選択は、コスト削減につながります。イタリアの社用車の80%を液化天然ガス（LNG）自動車に替えたことで、排出量が10～15%削減できただけでなく、燃料1リットルにつき1ユーロ節約できました」

バーチャルコラボレーションやトレーニングの技術を活用しましょう。

バーチャルコラボレーションの技術や、マンパワーグループのオンライントレーニング [powerYOU](#) を活用することで、コスト削減だけでなく、会議やトレーニングを集合形式で実施する際に発生する環境インパクトも削減できます。

「150名が参加するグローバルリーダーシップチームの会合をバーチャル形式で行ったことで、100万マイル（約160万km）の飛行機での出張と約40万ポンド（約18万kg）のCO2排出を回避できました」

出張が必要な場合は、環境へのインパクトが少ない手段を選びましょう。

飛行機よりも鉄道、タクシーよりも公共交通機関での移動を現実的な範囲で検討してください。レンタカーはエネルギー効率の良いモデルを借り、環境に配慮した宿泊施設に滞在しましょう。

「ノルウェーのオスロ・オフィスの社員は、クライアントとの商談や会社の行事に参加する際、マンパワーグループとグループブランドの [Experis](#)（エクスペリス）のロゴを入れた社用電気自動車（EV）を使います。スウェーデンの社員は、社用のロゴ入り自転車で現地ミーティングに行くこともあります」

オフィスのゴミを減らすための施策例



印刷やコピーに関するガイドラインを設けましょう。

- ✓ 社員とガイドラインを共有し、プリンター／コピー機の特長機能の使い方についてトレーニングしましょう。
- ✓ プリンターやコピー機は両面印刷に設定しておきましょう。
- ✓ Eメールの署名に「印刷する前に考えて」という文言を加えましょう。



環境に配慮したサプライヤーから調達しましょう。

- ✓ 実用的であれば、極力、再生材を使った紙や事務用品を選択しましょう。
- ✓ フローリングや家具などの大規模な設備は、長く使えるものを選びましょう。
- ✓ 梱包材の削減や再生可能な梱包材の使用をサプライヤーの皆様に依頼しましょう。



リサイクルを奨励しましょう。

- ✓ リサイクルマークを明示したリサイクル用ボックスを、皆の目につく便利な場所（プリンター横、休憩室など）に設置しましょう。

